

冬季雪合戦大会コロナ禍対策ガイドライン

北海道雪合戦連盟道央ブロック

この「ガイドライン案」は、北海道雪合戦連盟道央ブロック支部で開催される大会を対象に作成しております。現在、新型コロナ感染については、行く先が見えない状況が続いていますが、経済の疲弊回復も並行して進めていく必要があることも明らかで、Go Toトラベル、Go To イベントと実施されている国の施策も必要な事と捉えて主催者としてコロナ対策のガイドラインを、競技の特性にも落とし込み、大会の実施を目指す考えで取り組んでおります。

もちろん、コロナ禍以降、初めての秋から冬を迎える中で、第3波、4波と状況悪化の場合は、指針に準ずる形で中止の判断も大前提の上でのこととしております。

北海道選手権会場として予定している滝野スノーワールドは屋外での実施でテント対応を、サッポロオープン雪合戦は、ゆにガーデンの施設を利用させていただき中で、具体的な対応の詳細は今後、さらに検討を重ねて参ります。

以下、ポイントを補足させていただきます。

- 今回のコロナ禍の対応については会場設備や、運営方法、ローカルルールについても、それぞれ臨機応変にコロナ対策に対応した実施方法があるかと思っておりますので、ルールの緩やかな判断で取り組みます。
- 運営側の意識共有は当然ですが、参加者の意識を高める事が最重要と捉え、参加者も一体となったイベントの開催が今、求められる方法であると考えます。
参加者の申し込み時点でのチーム全員への意識付けは、必須としていますので全員からの同意書をネット上(Googleフォーム)にて回収する予定です。
同様に密になる雪球製造、施設がある場合の選手の控えスペースの区分が課題となりますが、進行にそったマニュアル作成と事前の配布も予定しております。
- 道央大会では、参加チームの過半数以上がチームヘルメットを所有していますのでヘルメットが無いチームへは、1人1個を貸出する予定です。相互審判も選手のヘルメットをそのまま使用としています。不足分は借用してでも対応などで対応する予定です。
※実際にヘルメット使用はアルコール消毒を行う方法より、貸し出す数量がある判断からです。
- コロナ対策としては ホイッスル使用をやめ、最低必要数の電子ホイッスルに変更の予定です。

以上です。

雪不足やコロナ禍に屈せず、各地の大会がこの冬、無事開催されますことを切望し情報として共有させていただければ幸いです。

【主催者】

1. 全般事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項と 参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理しチェックリスト化したものを事前に送り、参加者全員から承諾確認を取る。イベント当日も受付場所など適切な場所へ掲示する。
- 各事項がきちんと厳守されているか会場内を定期的に巡回、確認を行う。
- 高齢者、障がい者など利用者の特性に配慮する
- 万一、感染者が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、参加者より提出を求めた書面について保存期間（少なくとも1ヵ月以上）を定めて保存しておく
- イベント後、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合にそなえ立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

2. 参加募集時の対応／参加者へ求める内容

- 参加者が以下の場合、参加を見合わせを求めること（事前に承諾書の中で提示する）A-1（P3）
- マスクを複数枚持参すること。試合以外は常時マスクを着用
- 手袋を予備を含め持参すること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施
- 会場内は密を常に回避する（2m以上）
- 会場内、コート周辺で大きな声での会話、応援をしないこと
- 感染防止のため主催が決めた 運営上（試合中）の措置、厳守と主催者指示に従うこと
- イベント終了後、2週間以内に新型コロナ感染を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

※次のページに具体的な書式を記載します。



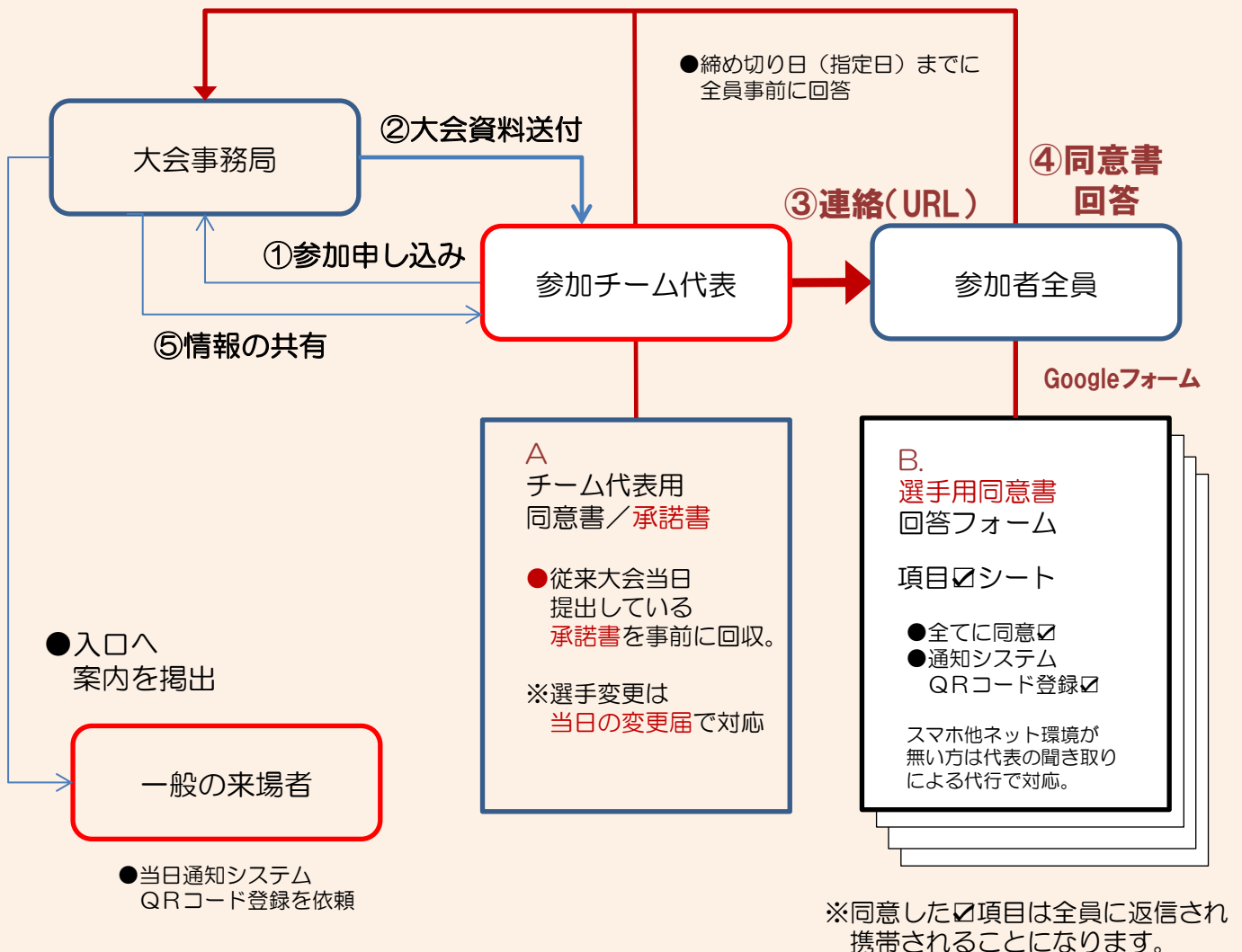
参加者募集時

- ①参加者へ事前コロナ対策の承諾と認知を通告の上で「同意書」提出を事前に義務付ける。(サンプル参照) 参加者の意識を徹底
- ②同意書を「Googleフォーム」にて各チーム毎に集約し、チーム代表者と共有
- ③北海道コロナ通知システム QRコードより事前登録

【参加者】

- 以下の内容を事前告知の上、参加チームを受け付ける。
- ①申し込み時に「同意書」の提出
- ③個人情報の観点から代表者とその管理をすることを義務化
- ②コロナ通知システムQRコード／事前登録

参加者全員の「同意書」をGoogleフォームで一括集計／管理



チーム代表者へ アクセス先を送り、代表者より全員へ転送。Googleフォームによる同意書の一括回収管理

A-1 (チーム名) サッポロイーグルス参加同意書

コロナ感染対策の一環として雪合戦大会へ出場チームメンバーは全員必ず、12月25日締め切りまでに回答をお願いいたします。このデータはチーム代表者の方と主催者が共有で管理します。ウイズコロナ禍の状況での大会開催につき、ご不便をおかけしますが、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

メールアドレス*

有効なメールアドレス

このフォームでは回答者のメールアドレスを収集しています。 [設定を変更](#)

※全チーム毎、個別フォームになります。

お名前と住所、電話番号を記入してください。

大会参加について以下のすべての項目について、前2週から当日までに該当する場合は参加を取りやめることに同意します。すべてに☑をいれてください。

- 発熱を自覚した場合
- 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状がある場合
- 味覚や臭覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすいなど
- 選新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触があった場合
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当責任者との濃厚接触があった場合

大会に参加する上で、主催者が取り決めた以下の項目について厳守の上、指示に従うことに同意します。すべてに☑を入れてください。

- 「北海道コロナ通知システム」QRコードの事前登録
- 各自 マスクの準備(複数枚用意)
- 各自 手袋の準備(複数枚用意)
- 各自 タオルの用意(手洗い時)
- ヘルメットの貸し出しを希望する選手は1名につき1枚、ヘルメット用タオルも用意
- メガホンの用意(審判有資格者、監督)※未確定
- チームでゴミ袋を用意し分別
- チームメイト、スタッフとの密を回避する
- 会場内で大きな声で会話、応援をしないこと
- 大会終了後、2週間以内に新型コロナ感染を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する
- 会場内で唾や痰を吐かないこと
- 飲みきれなかった飲料等を会場内に捨てないこと
- 大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

競技に関して以下の項目を厳守して 準備と対応をお願いします。すべての項目に☑をしてください。

- ヘルメットの無い選手、チームへはヘルメットを貸し出す。
- 選手、監督、審判は試合開始直前までマスクを着用
- マスク着用解除は主審の合図による(バックライン整列前)
- マスクはアゴ、またはアゴしたまで外し、ヘルメットバンドで押さえる。
- フェイスガードは下がるようにヘルメットを着用
- 審判、監督は、マイメガホンを用意し、メガホンを口元から下に向けて使用する。
- ホイッスルは使用しない。電子ホイッスルは主催者が用意する
- 相互審判は、マイヘルメット、チームウェアのまま、黄色腕章着用で実施する。
- その他、コート主任・主審の指示に従う

3. 当日大会受付時の対応

- 受付窓口には 手指消毒液を設置すること
- 発熱や軽食であっても咳、咽頭痛など症状がある場合は、入場しない事を呼びかける。
- 会場に応じて対応
 - 赤外線センサーによる検温を設置 レンタル
 - 検温によるチェック
- 当日受付の簡略化 前日の提出/ネットによる事前受付を奨励
- 参加者からの同意書の提出** ※前述のGoogleフォームを使用した同意書へ回答
 - 氏名、年齢、住所、連絡先（電話）
 - 当日の体温
 - 前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分）
 - 味覚や臭覚の異常
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当責任者との濃厚接触があった場合
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - 体が重く感じる、疲れやすいなど

4. 主催者が用意、対応するもの

- 手洗い場所
 - 手洗い場へは ポンプ式のハンドソープを用意
 - 手洗いは30秒以上の掲示 ※手拭き用のタオルは参加者が持参
 - ドアノブ、取っ手などは手袋着用で。運営側はこまめに消毒
 - 換気に配慮
- 休憩待機スペース
 - 広さにゆとりを持たせ、密になることを回避
 - ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度入室する人数を制限する
 - 参加者が触れる機会の多い場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手、テーブル、イス等）についてはこまめに消毒を行う
 - 換気に配慮
 - スタッフは手袋を着用
- 飲食の提供
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い手指消毒を行うよう声かけ
 - 飲料は自販機による提供、持ちこみを推奨
 - 弁当を斡旋するが、ゴミについてはチーム毎にまとめる
 - 飲食を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること

※次のページに続く。 ▼

4. 主催者が用意、対応するもの 続き

■観客の管理

- 観客への来場には、自粛を要請の上、会場内での密回避を要請
- マスク、手袋着用、タオル持参を呼びかけ
- 大声での声援や会話を控えること
- 留意事項を周知すること

■ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して指定場所へ。
- マスクや手袋を脱いだあとは 必ず石鹸と流水で手洗い、手指消毒をすること

5. 雪合戦参加者への対応要請／事前同意書共通

■参加者が各自用意するもの

- マスクの準備（複数枚用意）
- 手袋の準備（複数枚用意）
- タオルの用意（手洗い時）

- ヘルメットの貸し出しを希望するチームは1名につき1枚、ヘルメット用タオルも用意

- メガホンの用意（審判資格者、監督）※ホイッスルは使用しません。100円ショップ対応で可（※今後の検証によって実施方法を確定）

- チームでゴミ袋を用意
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- チーム内の参加者、主催者スタッフとの距離をとり、三密にならないようとする事

- 会場内で大きな声で会話、応援をしないこと
- 感染防止のため主催が決めた 運営上、試合中の措置、厳守と主催者指示に従うこと

- 大会終了後、2週間以内に新型コロナ感染を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

- 大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること
- 会場内で唾や痰を吐かないこと
- 飲みきれなかった飲料等を会場内に捨てないこと

- 共通ゴミの廃棄
- 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して指定場所へ。
- マスクや手袋を脱いだあとは 必ず石鹸と流水で手洗い、手指消毒をすること



6. 競技における留意点

- ヘルメットの無い選手、チームへはヘルメットを貸し出す。
(事前に希望を提出)
- 選手、監督、審判は試合開始直前までマスクを着用
- マスク着用解除は主審の合図による(バックライン整列前)
- マスクはアゴ、またはアゴしたまで外し、ヘルメットバンドでマスクを押さえる。
- ヘルメットフェイスガードは下がるようにヘルメットを着用
- 審判、監督は、ヘルメット着用の上、マイメガホンを用意し、
メガホンを口元から下に向けて使用する。(今後、検証してから方法を確定)
- ホイッスルは使用しない。電子ホイッスルは主催者が用意する
- 相互審判は、マイヘルメット、チームウェアのまま、
黄色腕章着用で実施する。
- 相互審判の動作 ①中断 ②フライング ③フラッグ奪取は
メガホンを頭の上で回しアピールし、センター審判が電子ホイッスルを鳴らす。

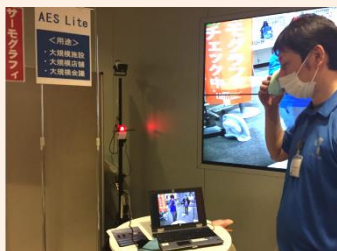
次のページ以降に具体的な実施方法を記載します。



受付時対応

受付時、全員を対象

- ①来場者全員の検温チェック
(予算と屋内外と会場別に対応)



赤色灯による自動告知

- ②北海道コロナ通知システム
QRコードボード設置 (観戦者用)

③受付の簡略化

- 消毒用のアルコール設置
- 受付テーブル前に、隔離シートを設置
- 受付スタッフマスク着用

- ④注意、呼びかけ放送を徹底
⑤誘導スタッフ要員を確保

- ⑥ヘルメットの貸し出し(事前申告)

■以下の行動をチームへ徹底する

- ①入場時の検温協力要請 受付時間の調整
～入口カメラによる赤外線感知システムなど
屋内施設の場合はレンタルで検討

☑選択

☐滝野公園：屋外の場合、専用テントを用意
人海戦術による検温を実施

☐ゆにガーデン 予算があれば
赤外線感知システム導入を選択

- ②コロナ通知システム
選手はQRコード事前登録を実施
～応援観客などを誘導

③受付時間帯の厳守

試合の早いチーム・遅いチームへ
事前告知前後半でタイムテーブルを検討
チームの対応を要請

- 参加承諾書の事前回収
- 選手変更届の書式を変更し対応
(日連様式を採用)

会場の体制

【会場】待機場所について

- ①参加者の控えスペースを指定
室内/屋外 大会会場により判断
- ②可能な範囲でテントを増設
- ③応援観客への来場自粛要請
今回は特に幼児の来場について告知する
ただし、柔軟な対応とする。

■三密に対応できる施設環境が困難な場合

- ①車両を待機場所として利用することも要請
- ②チームの試合に合わせて
控え場所の入れ替えなど検討

※会場により対応を検討

- ①マスクを取って良いのはコート上で挨拶後（試合開始前）とする
- ②手袋は試合を含め常時着用
- ③雪合戦用具 ヘルメットは1人1個専用使用とし、使いまわし無し
- ④雪球ケースのコーナーの密回避
- ⑤雪球製造コーナーのスペースを出来るだけ広く確保
- ⑥コート内審判テントは入り口を開口
選手入場時の誘導を徹底

■以下の内容を事前告知の上、徹底

- ①**試合開始時まで、マスク**の着用
手袋は常時着用（同意書に記載）
- ②雪球製造も手袋着用厳守
予備の手袋も各自用意とします。
- ③チームヘルメットの無いチームへは
審判用のヘルメットも含め**一人に1個貸出**
※事前の借用申請 サイズ申請
- ④～⑤
代表が責任をもって誘導
雪球受付～雪球製造と三密を回避

試合までの流れ

【従来の競技者名簿の提出廃止】
競技者リスト回覧方式で実施

- ①【**競技受付**】室内／屋外テント
用紙提出BOXの設置、受付時間厳守
- ② 用紙返却（最大12チーム）
一斉にテーブルに並べる
- ③【**雪球ケース配布テント**】
 - ・ハンコ省略
 - ・チーム（番号）でチェック
- 【**雪球製造コーナー**】
 - ① スペースの十分な確保
 - ② 雪球製造コーナーのスペースを出来るだけ広く確保
事前に**マニュアル**を配布し密を回避
- ※製造器配置場所、製造工程を確保
三密を回避
- ③ 他県連の大会のように**制限時間で打ち切り**を検討 出来た分のみ
- ただし、雪質の状況、試合の進行、相互審判による人数不足などを考慮し
試合毎に公平になるように都度判断し
「残り時間」での制限を加える。

【従来の競技者名簿の提出廃止】
参加チーム代表は事前記入の上
終日管理 終了後提出

- ① 競技受付 用紙提出BOXへ投函
受付時間厳守 チームは別途待機
- ② 用紙返却後、直ちに移動
- ③ 雪球ケースを受け取る
 - ・最少人数で運搬対応
 - ・チーム名（番号）申告

参加チーム代表は、速やかな対応を
マスク手袋は着用、おしゃべりはしないように。

- ② 事前に雪球製造の役割分担を検討（例）
 - A-1) 雪を搬出
 - A-2) 雪球製造器へ投入
 - B-1) 製造器担当
 - C-1) 2～3名担当で雪球をケースへ一旦移動
 - C-2) 2人ペアで握りしめて1ケース毎に製造していく
- ③ 指定時間内に雪球を製造する
- ④ 雪球ケースをコートへ移動
前の試合が終了していない時は通路等密にならない場所で
チームメンバーも密を回避

□試合中マスク不要とする。

- 審判**
- 主任／メガホン
 - C主審／電子ホイッスル・メガホン
 - 副判／メガホン
 - エンド副審／メガホン、電子ホイッスル

審判の進行

- 1 通常どおり整列
主審はマスク越しにトラメガで
注意事項伝達 開始前にマスクを顎へ移動
- 2 主審はメガホンで「ヨ～イ！」コール
～電子ホイッスルを鳴らしスタート
- 3 アウト宣告、審判にメガホンもたせ
下に向けてコール
 - 副審のアウトコールを主審、エンド審判が
メガホンで補助
 - またはコート主任も メガホンで補助
 - 副審のフライング、中断、フラッグ奪取を
主審、エンド審判が電子ホイッスルで補助
(道央エンド審判は高所台に配置)
 - 副審は昔のフラッグでアウトをアピール
(検証して確定)
- 4 ●最終セット終了時、選手はバックライン整列
したまま、試合結果を聞く。
 - 主審はセンターでトラメガで試合結果を告知
終了後、勝利監督にサインほか、トラメガで
相互審判など誘導告知、
ゼッケン回収、手袋、マスク着用継続
 - 審判メガホンのアルコール消毒は都度、難し
いため専用のメガホンを持参してもら
有効であれば、審判は各自用意する
(¥100ショップ)

その他

- ①スタッフ関係者もマスク手袋着用を徹底
こまめに室内施設アルコール消毒を行う。
 - 昼食弁当を事前に斡旋／参加者持ち込み
- ②開会式は 代表者ほか2, 3名で実施
閉会式も 簡略化を目指す。調整

※審判、監督のメガホンは検証の上、再度
検討事項です。

- 記録**
- 記録／マスク着用
 - 時計係／マスク着用・電子ホイッスル
 - 審判テントに消毒用アルコール
 - 時計係は、終了の電子ホイッスルを担当

選手の動き

- ① 選手はヘルメット着用、手袋・マスク着用で整列
対面の距離を保つ※
- ② 手袋着用だが握手は省略
- ③ マスクをアゴに外し、ヘルメットバンドで固定
雪球運搬～バックラインへ整列
スタートを待つ
- ④ あらかじめ試合中の声のアピールや抗議による
声出しの自粛要請。リザーブ、アウト選手も同様
(本来の反則ルールも適用)
- ⑤ 監督の声出しについてはメガホン(持参)を
持たせ下に向けて使用とする ※未確定
- ⑥ 試合勝敗確定時、バックラインに整列のまま
試合結果を聞く その場で挨拶し、試合終了。
※終了後の息遣いを考慮
※勝利監督はサイン
- ⑦ ヘルメット取り、マスクを着用
ゼッケンを回収 手袋は常時着用か交換
- ⑧ 相互審判は、マイヘルもしくは支給ヘルメットを
そのまま着用、衣服もそのままが良い。
審判イエロー腕章のみを着用(道央スタイル)
 - 審判のメガホン対応が確定の場合はチームの
審判有資格者へ伝達する事。

- ①観客もマスク手袋着用を徹底。応援声援を
禁止とする。
 - 飲食は持ち込みを推奨 弁当斡旋も可能
- エンジョイ部門に関しては 5人制を検討